

第5期 きらっとあさひプランってなあに？

旭区地域福祉保健計画の愛称です。
身近なまちに知り合いが増え、
安心して自分らしく暮らせるまちにするための計画です。

旭区役所、旭区社会福祉協議会、地域ケアプラザが
地域の皆さんとともに取り組みます。



基本理念

地域で支えあい 安心して自分らしく暮らせるまち 旭区をつくろう

1 日常的なつながりを通じた地域づくり



お互いの理解を深め、さりげない見守りや日常の交流を通じたゆるやかにつながる地域を目指します。

2 困ったときでも安心して暮らせる体制づくり



どこに相談をしても必要な支援につながる体制をつくります。課題解決に向けて様々な人や団体で話し合います。

3 地域参加のための環境づくり



誰もが気軽に地域と関わって、企業や法人なども活躍でき、既存の活動も続けやすい、環境づくりを進めます。

地区別 計画

地区ごとの課題
に対する取組

区全域 計画

区全域に共通する課題
に対する取組
地区別計画を
支える取組

きらっとあさひプランを
みんなで話し合い、確認しながら
取組を進めることが大切なんだね！



旭区 マスコットキャラクター
あさひくん

一つひとつの取組が
「安心して自分らしく暮らせるまち」
につながっているよ♪



きらっとあさひプラン
マスコットキャラクター
あさちゃん
きらっとあさひプランの
詳細はこちら



左近山地区

左近山
市沢町※

※ 他の地区にもまたがっています。

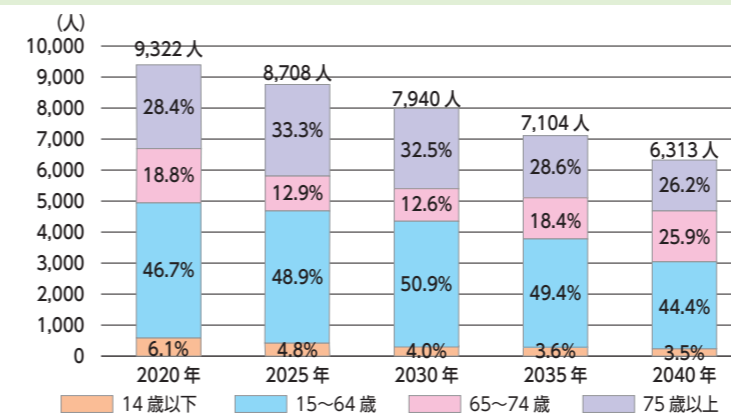


あなたの まちは、どんなまち？

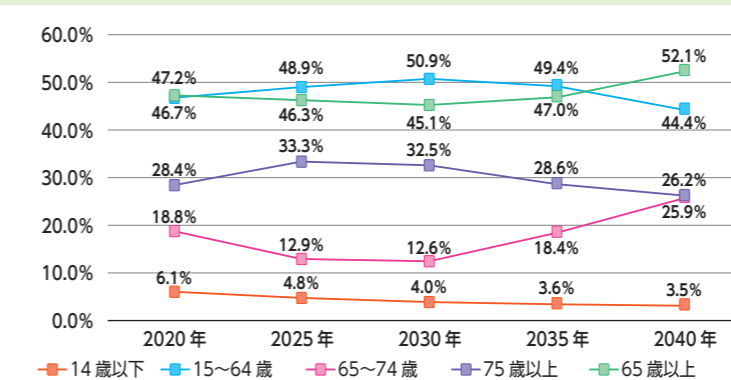
左近山地区は、旭区の南東に位置し、昭和40年代に丘陵部分に開発された集合住宅を中心とした地域です。開発当初に入居した人や高齢になってから移り住む人もおり、区内でも高い高齢化率となっていますが、元気な高齢者も多い地区です。豊かな自然や公園がたくさんあることも魅力の一つで、身近なところに商店街やスーパー、病院があるなど生活環境も整っています。

今後の人口の変化予想

◆年齢別 積み上げ棒グラフ



◆年齢別 折れ線グラフ



出典 横浜市日常生活圏域等別データ
小数点第2位を四捨五入した数値のため、合計が一致しないことがあります。



2025年の人口は約8,700人で、
今後は減少傾向で推移すると見込まれます。
2030年には、14歳以下は4%、
65歳以上は45.1%となる見込み
です。

目指す
まちの姿

左近山地区

活気ある左近山を未来につなごう

左近山連合自治会 結成50周年記念スローガン
(左近山小学校2018年度6年1組 作成)

これまでの取組

- 「子どもとのつながり」
小学校・中学校の「総合学習」などで、子どもと地域がつながるための取組が実施され、地域との協力体制ができている。
- 「互いを理解し合うための交流」
地域住民と特別支援学校などとの交流が行われることにより、互いに理解し合える関係づくりが進んでいる。
- 「地域でつながり見守りあうきっかけづくり」
ほっこりカフェがはじまり、気になる人の居場所や受け皿、見守りにつながる場となっている。
- 「多世代のつながり」
連合自治会主催の団地祭や様々なテーマの地域イベントを開催することで、幅広い世代の住民が集まり、多世代交流が進んでいる。

目標と主な取組

目標 A 大人になって戻りたいと思うふるさとづくり

- ▶ 学校や地域の居場所、集いの場を通じ、子どもと様々な世代が関わる場を増やす
- ▶ 子どもたちが自ら考え地域で活躍できる環境をつくる
- ▶ 子どもたちの意見を聞く機会をつくる

地域で
子どもを
育てよう



ジュニアボランティア
小学校5・6年生の有志がボランティア団体と交流をしました



左近山スタンプラリー
支えあいネットワーク主催の楽しい地域交流イベント！
左近山をぐるっと一周

目標 B 一人ひとりを理解し寄り添えるまち

一緒に過ごす時間から
互いの理解を深めよう

- ▶ 誰も(孤立しがちな人、認知症、障がい児者、子育て世帯、外国にルーツのある人等)が参加でき、ホッとできるような居場所をつくる
- ▶ 一人ひとりが接点を持ち、理解し合えるような機会、関係をつくる
- ▶ 障がいがあっても、地域で活躍でき得意を活かせる場面をつくる
- ▶ 災害時を見据え、障がいや認知症等の理解啓発を進め、支え合える仕組みをつくっていく



認知症サポーター養成講座
地域の方の認知症への理解を深める
機会として、ほっと*さこんやまで
年一回開催しています

左近山特別支援学校と
地域サークルとの交流
地域の皆さんとふれあうことで
協同の大切さを学んでいます



目標 C 地域住民自らが見守りの意識を持つまち

となり近所で
気にかけておおう

- ▶ 地域住民に日常生活の中で見守りの意識を持ってもらう
- ▶ 近所付き合いの少ない人とつながるきっかけをつくる
- ▶ 見守りに関する様々な活動がつながり、見守りを強化する



ほっこりカフェ
だれもが気軽に立ち寄り、ほっこりする憩いの場です



目標 D 地域活動に楽しく参加しやすいまち

自分のペースで
参加してみよう

- ▶ できる範囲で気軽に参加できるきっかけをつくる
- ▶ 住民が声をあげ、参加しやすい活動をつくる仕組みを検討する
- ▶ 地域を好きになってもらうための情報発信を強化する
- ▶ 自治会活動の目的・内容のPRにより加入を促進する



左近山のお祭り
団地祭をはじめ、各自治会の
お祭りが盛んです



商店街イベント
毎月開催している商店街イベントを
多世代の活躍で盛り上げています！

推進体制

左近山地区地域支えあいネットワーク

左近山連合自治会、1街区自治会、2街区自治会、小高団地自治会、あさひ自治会、7・8・9街区自治会、市沢団地自治会、市沢団地住宅地区自治会、*左近山地区社会福祉協議会、*左近山老人クラブ連合会、*民生委員・児童委員、*保健活動推進員、*青少年指導員、スポーツ推進委員、左近山団地管理組合協議会、左近山小学校、左近山中学校、左近山特別支援学校、PTA、左近山保育園、*学校・地域コーディネーター、左近山中央診療所、日向台病院、左近山商店連合会、空とぶくじら社、ハートケア左近山、横浜市スポーツ協会、UR都市機構、*地域有志 (*は運営委員)